

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月13日

上場会社名 株式会社アールテック・ウエノ 上場取引所 大証ヘラクレス  
 コード番号 4573 URL <http://www.rtechueno.com>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 真島 行彦  
 問合せ先責任者 (役職名)ビジネスマネジメント部長 (氏名) 中村 宏司 TEL (03)3596—8011  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,036	△51.9	231	△76.1	229	△77.0	328	△44.4
21年3月期第1四半期	2,156	(—)	966	(—)	998	(—)	590	(—)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第1四半期	6,671	26	—	—
21年3月期第1四半期	12,060	83	11,907	75

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第1四半期	7,838		6,204		79.2		126,052	08
21年3月期	7,843		6,210		79.2		126,173	58

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,204百万円 21年3月期 6,210百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—	—	—	—	—	—	6,500	00	6,500	00
22年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	2,000	00	2,000	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	2,022	△43.4	337	△72.2	335	△73.0	395	△50.0	8,028	08
通期	4,184	△30.2	675	△54.0	664	△53.6	603	△35.5	12,261	57

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
  - ② ①以外の変更 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	22年3月期第1四半期	49,222株	21年3月期		49,222株
--	-------------	---------	--------	--	---------
  - ② 期末自己株式数

	22年3月期第1四半期	一株	21年3月期		一株
--	-------------	----	--------	--	----
  - ③ 期中平均株式数（四半期累計期間）

	22年3月期第1四半期	49,222株	21年3月期第1四半期		48,928株
--	-------------	---------	-------------	--	---------

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、一部の景気動向調査では景気の底打ちが伝えられたものの、設備投資の減少や雇用悪化、個人消費の低迷が続いており、総じて厳しい状況で推移しました。

国内の景気は低迷状態が続いており、社会保障費の削減を目的とした医療費抑制の基調は変わらず、世界最大の医薬品市場である米国でサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱が海外での実体経済に影響を及ぼし、医薬品業界を取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。

当社の主力商品であるレスキュラ®点眼液については、眼科医を対象とした製品説明会や緑内障の早期発見につなげるための眼底読影勉強会を積極的に行うなど、処方数の維持に努めておりますが、売上の減少は抑えることができず、当第1四半期会計期間の売上高は725百万円（前年同期比10.5%減）となりました。また、米国のSucampo Pharma Americas, Inc. 社の製品で当社が受託製造、供給を行っておりますAmitiza®カプセルの当第1四半期会計期間の売上高は273百万円（前年同期比79.2%減）となりました。当第1四半期の売上高、営業利益、経常利益が前年同期と比べて大幅に減少している要因は、前年同期はAmitiza®カプセルの特別出荷があり、1,313百万円の売上高だったのに対し、当第1四半期は在庫調整中のため、273百万円の売上高にとどまったことによります。

これらの結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高1,036百万円（前年同期比51.9%減）、営業利益231百万円（前年同期比76.1%減）、経常利益229百万円（前年同期比77.0%減）、四半期純利益328百万円（前年同期比44.4%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

流動資産の残高は5,270百万円（前事業年度末5,201百万円）となり、68百万円増加しました。

主な要因は、製品の増加（78百万円から279百万円へ201百万円増）や売掛金の増加（302百万円から493百万円へ190百万円増）となった一方、仕掛品の減少（1,128百万円から957百万円へ170百万円減）によるものであります。

固定資産の残高は2,567百万円（前事業年度末2,641百万円）となり、74百万円減少しました。

主な要因は、有形固定資産の減少（896百万円から855百万円へ41百万円減）や投資有価証券の減少（1,496百万円から1,472百万円へ24百万円減）によるものであります。

流動負債の残高は1,220百万円（前事業年度末763百万円）となり、457百万円増加しました。

主な要因は、返済期限が1年以内の長期借入金の増加（固定負債から流動負債へ科目振替により500百万円増）や未払法人税等の増加（87百万円から142百万円へ55百万円増）によるものであります。

固定負債の残高は413百万円（前事業年度末869百万円）となり、456百万円減少しました。

主な要因は、長期借入金のうち返済期限が1年以内となった借入金の科目振替による減少（固定負債から流動負債へ科目振替により500百万円減）や役員退職慰労引当金の減少（53百万円から26百万円へ27百万円減）によるものであります。

純資産の残高は6,204百万円（前事業年度末6,210百万円）となり、5百万円減少しました。

主な要因は、利益剰余金は増加（4,107百万円から4,115百万円へ8百万円増）したものの、その他有価証券評価差額金が減少（855百万円から840百万円へ14百万円減）したことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社は平成22年度第2四半期および通期の業績予想について、業績予想の修正を行っております。詳細につきましては本日（平成21年8月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,400,643	2,387,277
売掛金	493,653	302,690
製品	279,564	78,038
仕掛品	957,096	1,128,030
原材料及び貯蔵品	632,226	686,231
その他	507,557	619,600
流動資産合計	5,270,742	5,201,869
固定資産		
有形固定資産	855,553	896,693
無形固定資産	167,944	176,193
投資その他の資産		
投資有価証券	1,472,157	1,496,432
その他	71,918	72,321
投資その他の資産合計	1,544,075	1,568,753
固定資産合計	2,567,573	2,641,641
資産合計	7,838,316	7,843,510
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103,575	196,250
1年内返済予定の長期借入金	500,000	—
未払法人税等	142,180	87,039
その他	474,696	479,895
流動負債合計	1,220,452	763,185
固定負債		
長期借入金	—	500,000
繰延税金負債	369,973	300,018
役員退職慰労引当金	26,788	53,982
執行役員退職慰労引当金	5,961	4,833
その他	10,605	10,975
固定負債合計	413,328	869,810
負債合計	1,633,780	1,632,995
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	653,987	653,987
資本剰余金	593,787	593,787
利益剰余金	4,115,825	4,107,395
株主資本合計	5,363,599	5,355,169
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	840,936	855,345
評価・換算差額等合計	840,936	855,345
純資産合計	6,204,535	6,210,515
負債純資産合計	7,838,316	7,843,510

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,156,967	1,036,825
売上原価	726,616	298,425
売上総利益	1,430,351	738,399
販売費及び一般管理費	463,819	507,342
営業利益	966,531	231,057
営業外収益		
受取利息	—	763
為替差益	37,093	—
還付加算金	—	1,425
その他	283	536
営業外収益合計	37,377	2,725
営業外費用		
支払利息	2,020	1,687
為替差損	—	2,200
株式交付費	3,241	—
その他	—	250
営業外費用合計	5,262	4,138
経常利益	998,646	229,643
特別利益		
固定資産売却益	—	289,536
役員退職慰労引当金戻入額	—	14,255
特別利益合計	—	303,792
特別損失		
固定資産除却損	35	—
特別損失合計	35	—
税引前四半期純利益	998,610	533,435
法人税、住民税及び事業税	360,514	138,760
法人税等調整額	47,984	66,302
法人税等合計	408,498	205,063
四半期純利益	590,112	328,372

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	998,610	533,435
減価償却費	57,538	71,404
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,330	△27,193
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,278	1,127
受取利息及び受取配当金	—	△763
支払利息	2,020	1,687
為替差損益 (△は益)	△31,097	2,532
無形固定資産売却損益 (△は益)	—	△289,536
売上債権の増減額 (△は増加)	△198,293	△190,962
たな卸資産の増減額 (△は増加)	330,832	23,413
前渡金の増減額 (△は増加)	△47,614	△14,391
前払費用の増減額 (△は増加)	△349,213	85,676
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△138,550	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66,672	△92,675
未払金の増減額 (△は減少)	54,033	28,371
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,185	16,467
前受金の増減額 (△は減少)	△152,971	△121,529
その他	△104,704	74,268
小計	357,342	101,332
利息及び配当金の受取額	—	763
利息の支払額	△3,807	△3,540
法人税等の支払額	△1,053,898	△82,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	△700,362	15,986
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△101,141	△28,537
無形固定資産の売却による収入	—	289,536
その他	50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,091	260,999
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300,000	—
短期借入金の返済による支出	△300,000	—
株式の発行による収入	769,575	—
配当金の支払額	△356,100	△260,716
リース債務の返済による支出	△154	△370
ストックオプションの行使による収入	14,728	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	428,048	△261,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,097	△2,532
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△342,307	13,365
現金及び現金同等物の期首残高	2,160,574	2,387,277
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,818,266	2,400,643

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし